

(1)

人々の創造性と科学

「科学革命」と人々の革命

湯川秀樹

一九六五年二月八日 箱根(仙石)

親光ホテルにおける 玉友会 研究会 終了

実施計画に基き 滑沢、十三のから十田の下

(岩波書店原稿用紙)

C021-180-050

(2)

創造性発現のたのびを待つ——執筆

執筆場さ——東京大に於ける執筆場さ

——吉岡先生——東京大一年を過ごした頃

体言——東洋人の創造性——自伝的経歴——

見識——目標理想——自伝——思想の

矛盾——新発見の——奇妙な七の科学

入に、理解しようとする気構え——致知を成し

るまらりの、シヨウヤンガ守るの中に、物

論——「素朴な物理学」がふまわっている地

心——好奇心——本質的な——批判精神——

(岩波書店原稿用紙)

「先見の明者」  
「自ら」

(他人)



(4)

一 数学 — 近代の数学の概観 —

天才の時代 — 学問の発展 — 社会の

発展 — 芸術 — 昆虫の生態 —

動物の生態 — 宇宙の探査

△.  $c_{\text{min}} \downarrow R_{\text{sc}}$

ニュートン、アインシュタイン、量子力学の発展

一 レイリーマン、エバンス — 本居宣長、井白石

一 執筆

(岩波書店原稿用紙)